

XPORT を使用の弊社 Enet シリーズ 共通

セ ッ ト ア ッ プ モ ー ド マ ニ ュ ア ル

WP-01-161111

第 1 版 平成 28 年 11 月



データリンク株式会社

本書で使われる用語

Enet: Enet-XPORT 等、LAN インターフェース部に Lantronix 社の XPORT を使用した弊社 Enet シリーズの総称です。

本書で Enet と記述された部分は、お手持ちの XPORT を使用した Enet シリーズの該当機種名と読み替えて下さい。

ご注意

本書の一部または、全部を無断で複製、複写、転載、改変する事は法律で禁じられています。

本書の内容及び製品の仕様、意匠等については、改良の為に予告なく変更することがあります。

本書の内容については、万全を記して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付の点がございましたら、ご連絡下さいますようお願い致します。本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは一般的に各社の商標または登録商標です。

本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の障害について、当社はその責任を一切負わないものとします。

目次

第1章	セットアップモードとは	1
1 - 1	セットアップモードを使用するケース	1
1 - 2	セットアップモードの方法	2
第2章	セットアップモードへの移行方法	3
2 - 1	シリアル経由での移行	3
2 - 2	LAN 経由での移行	5
2-2-1	IPアドレスが判明している場合	5
2-2-2	IPアドレスが判明していない場合	7
第3章	セットアップモードでの設定方法	9
3 - 1	基本的な設定方法	9
3-1-1	[0 Server] 設定メニュー	9
3-1-2	[1 Channel 1] 設定メニュー	11
3-1-3	[3 E-mail] 設定メニュー	15
3-1-4	[5 Expert] 設定メニュー	17
3-1-5	[6 Security] 設定メニュー	18
3-1-6	[7 Defaults] 設定メニュー	20
3-1-7	[8 Exit without save] 設定メニュー	20
3-1-8	[9 Save and exit] 設定メニュー	20



第1章 セットアップモードとは

1 - 1 セットアップモードを使用するケース

通常 XPort を搭載した Enet シリーズの設定は、Lantronix 社製の Windows 専用ソフトウェアである [DeviceInstaller] を使用して行いますが、以下の様な理由によりこちらを使用出来ない場合に使用します。

1 度設定した IP アドレスを忘れてしまった。

ログオン時に必要なパスワードを忘れてしまった。

WindowsPC が使用出来ない環境で設定をする必要がある。

通常は、[DeviceInstaller] を使用して設定を行う事をお勧めいたします。

、 のケースであれば、最低限の設定、確認のみセットアップモードで行い [DeviceInstaller] を使用出来る状態になった後は、[DeviceInstaller] にて設定をされる事をお勧めします。

注意: セットアップモードで、全ての設定は出来ません。

例: Configurable Pins (CP) の設定等

1 - 2 セットアップモードの方法

シリアル経由でセットアップモードへ入り設定・確認を行う方法。

必要なもの： Enet、シリアルケーブル、ターミナルソフトが動作する PC
(WindowsPCであれば、添付の TermWin.exe がターミナルソフト
として使用可能です)

**注意： Enet のシリアルインターフェースが RS232C 以外の場合、パソコンの
RS232C ポートへは直接接続出来ません。
RS232C と RS422/RS485 変換機や USB と RS422/RS458 変換機が必要とな
ります。(弊社でも上記変換機は、別売しております。)**

LAN 経由 (Telnet 使用) でセットアップモードへ入り・設定・確認を行う方法。

必要なもの： Enet、LAN ケーブル、Telnet クライアントが動作する PC
PC と Enet を直結する場合は、LAN ケーブルはクロスケーブル
が必要です。

Enet と PC 間に HUB を入れる場合は、HUB と Enet はストレート
LAN ケーブルで接続して下さい。

第2章 セットアップモードへの移行方法

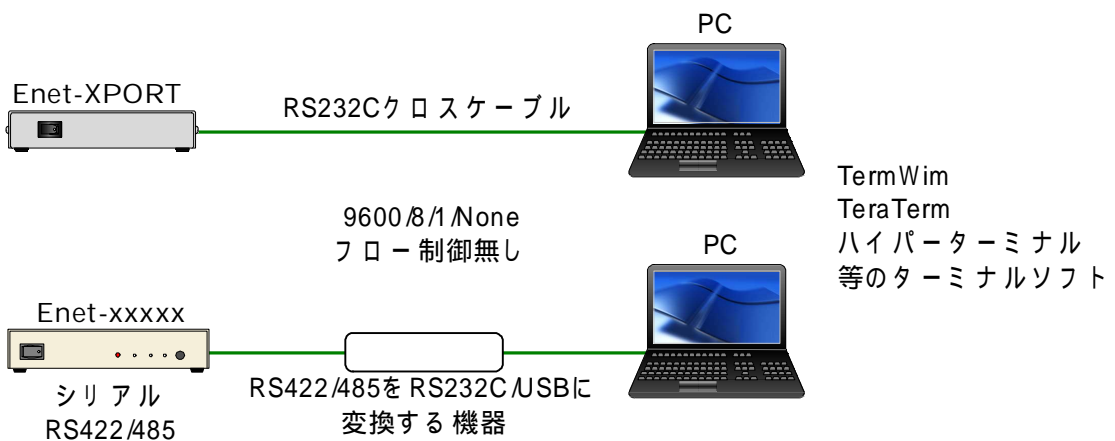
2 - 1 シリアル経由での移行

以下の様に PC と Enet を接続します。

PC 上でターミナルソフトを起動し通信条件を設定します。

また、ターミナルソフトは、送信時の改行コードは CR のみ、ローカル ECHO 無設定とします。

9600bps、Data 長:8、Stop Bit:1、パリティ:None、フロー制御:無



PC のターミナルソフト上で、半角小文字の 'x' を KEY 入力しながら Enet の電源を投入します。

(起動後、1 秒以内に連続した 3 文字の 'x' を検出するとセットアップモードへ移行します。)

セットアップモードへの移行モードになると以下のようなメッセージが表示されますので 5 秒以内に Enter キーを押します。(5 秒以内に Enter キーを押さないと入れません。)

以下のメッセージが表示されない場合は、Enet の電源を切って へ戻りやり直します。

MAC address XXXXXXXXXXXXX

Software version V6.XX.X.X(NNNNNN) XPTEXE

Press Enter for Setup Mode



セットアップモードへの移行が成功すると現在の設定値が表示されて最後に以下の設定メニューが表示されます。

Change Setup:

- 0 Server
- 1 Channel 1
- 3 E-mail
- 5 Expert
- 6 Security
- 7 Defaults
- 8 Exit without save
- 9 Save and exit Your choice ?

設定したい項目の番号を入力する事により、それぞれの項目の詳細設定を行います。

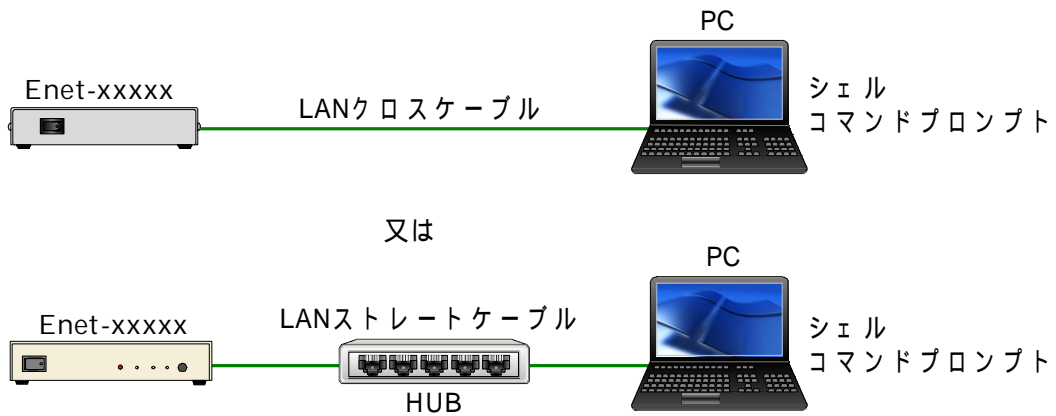
設定メニュー項目の設定内容概要

メニュー項目	設定内容
0 Server	IPアドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイ等の設定を行います。
1 Channel1	シリアルCHの通信条件の設定を行います。
3 E-mail	警告メールの送信設定、SMTPサーバーのIP設定を行います。
5 Expert	TCP/IP KeepAliveの設定、ARPテーブルキャッシュ保持時間の設定等を行います。
6 Security	セキュリティ関連の設定を行います。
7 Defaults	Lantronix社のXPORT出荷時の設定に戻します。Configurable PinsやIPアドレス値は変更されません。
8 Exit without save	設定変更を保存せずに終了します。(設定、変更キャンセル)
9 Save and exit	設定変更した内容を保存し、セットアップモードを終了します。

セットアップモードを使用した設定方法の詳細については、[第3章 セットアップモードでの設定方法]を参照してください。

2 - 2 LAN 経由での移行 (Telnet 使用)

以下の様に PC と Enet を接続します。



2 - 2 - 1 IPアドレスが判明している場合

Linux等のWindows以外のOSの場合、コマンド実行可能なシェルを起動します。
Windowsであれば、コマンドプロンプトを起動します。

下記のコマンドを入力して、Enetの特殊Port: 9999へTelnetでログインします。
telnet XXX.XXX.XXX.XXX 9999
(XXX.XXX.XXX.XXXは、EnetのIPアドレスです)

Enetに接続が成功すると、以下のようなメッセージが表示されますので5秒以内にEnterキーを押します。(5秒以内にEnterキーを押さないと入れません。)

以下のメッセージが表示されない場合は、Enetの電源を切ってへ戻りやり直します。

```
MAC address XXXXXXXXXXXX
Software version V6.XX.X.X(NNNNNN) XPTEXE
Press Enter for Setup Mode
```

セットアップモードへの移行が成功すると、現在の設定値が表示されて最後に以下の設定メニューが表示されます。

Change Setup:

0 Server

1 Channel 1

3 E-mail

5 Expert

6 Security

7 Defaults

8 Exit without save

9 Save and exit Your choice ?

設定したい項目の番号を入力する事によりそれぞれの項目の詳細設定を行います。

セットアップモードを使用した設定方法の詳細については、[第3章 セットアップモードでの設定方法]を参照してください。

2 - 2 - 2 IPアドレスが判明していない場合

IPアドレス判明時と同様に Linux 等の Windows 以外の OS の場合、コマンド実行可能なシェルを起動します。Windows であれば、コマンドプロンプトを管理者権限で起動します。

IPアドレスが判らないと通常Telnet接続は出来ません。従ってIPアドレスが不明の場合は、まず、arp コマンドを使用して一時的に Enet に仮の IP を設定し Telnet 接続を試みます。

下記のコマンドを入力し、PC の arp エントリテーブルを作成します。

```
arp -s XXX.XXX.XXX.XXX hh-hh-hh-hh-hh-hh (Windows 系)
```

```
arp -s XXX.XXX.XXX.XXX hh:hh:hh:hh:hh:hh (Linux、Unix 系)
```

XXX.XXX.XXX.XXX=Enet に設定する IP アドレスを 10 進数で入力します。

hh-hh-hh-hh-hh-hh=Enet の MAC アドレス (ハードウェアアドレス) を 16 進数でハイフン又はコロンで区切り入力します。

Enet の MAC アドレスは、板金ケースにシールで貼られています。

注意: a) 設定する IP アドレスは、PC と同じセグメント内の IP で他の LAN 接続機器と重複しないユニークな IP である必要があります。

b) Windows の場合、一つ以上の arp データが存在しないと arp は機能しません。

arp -a コマンドを実行し 1 行も arp レコードが表示されない場合は、例えば他の PC に ping を送るなどして少なくとも一つの arp レコードを作っておいてください。

(ピングコマンド: ping xxx.xxx.xxx.xxx xxx は存在する機器の IP)

下記のコマンドを入力して、Telnet 接続を行います。

```
telnet XXX.XXX.XXX.XXX 1
```

XXX.XXX.XXX.XXX は、前述 で指定した Enet の IP です。

IP の後ろに必ず 1 を指定します。

この Telnet 接続は必ず失敗します。

但し Enet の IP はこの時点で XXX.XXX.XXX.XXX で仮登録された状態となります。

改めて下記のコマンドで、Telnet接続を行います。

```
telnet XXX.XXX.XXX.XXX 9999
```

接続が成功すると、下記メッセージが表示されます。

```
MAC address XXXXXXXXXXXX
```

```
Software version V6.XX.X.X(NNNNNN) XPTEXE
```

```
Press Enter for Setup Mode
```

5秒以内に Enter キーを押し、下記セットアップメニューを表示させます。

```
Change Setup:
```

```
0 Server
```

```
1 Channel 1
```

```
3 E-mail
```

```
5 Expert
```

```
6 Security
```

```
7 Defaults
```

```
8 Exit without save
```

```
9 Save and exit          Your choice ?
```

注意: この時点では、EnetのIPは仮に設定されているだけです。

0 Serverメニュー内のネットマスク等と合わせてIPを正規の手順にて設定し、保存(9 Save and exitの実行)しないと反映されません。

設定保存をせずに、セットアップメニューを終了したり、Enetの電源を落としたりすると [2-2-2] の手順を最初からやり直す事になります。

必ず、IPは保存してからセットアップメニューを終了して下さい。

設定したい項目の番号を入力する事によりそれぞれの項目の詳細設定を行います。

セットアップモードを使用した設定方法の詳細については、[第3章 セットアップモードでの設定方法]を参照してください。

第3章 セットアップモードでの設定方法

3 - 1 基本的な設定方法

表示されたセットアップメニューより設定したい番号を入力し、Enterキーを押します。

1つのメニューの中に複数の設定項目がありますが、何も変更しない場合は、Enterキーを押すと次の設定項目が表示され、1つのメニュー内の設定項目が終了すると下記セットアップメニュー表示に戻ります。

Change Setup:

0 Server

1 Channel 1

3 E-mail

5 Expert

6 Securit

7 Defaults

8 Exit without save

9 Save and exit Your choice ? 0

3 - 1 - 1 [0 Server] 設定メニュー

IP Address:

上記メニューより、"0"を入力しEnterキーを押すと下記のように表示されます。
Enetに設定したいIPアドレスを入力していきます。

IP Address: (000)

そこで設定したいIPを最上位から入力していきます。

IP Address: (000) 192 のように最上位を入力したらEnterキーを押します。

すると IP Address: (000) 192.(192) となります。

下線部は自動的に表示されます。続けてIPアドレスの次の部分を入力します。

() 内は入力された値を表示しています。

IP Address: (000) 192.(192)168 のように入力したらEnterキーを押します。

すると IP Address: (000) 192.(192)168.(168) となります。

残りのIP部も同様の方法で入力します。

IP Address: (000) 192.(192).168.(168) 0.(000) 20 最後にも必ずEnterキーを押します。

これでEnetのIPが設定されます。(保存はまだされていません。)

Set Gateway IP Address (N) ?

ここでゲートウェイ IPアドレスを入力する場合は、Yを入力し Enterキーを押します。

設定を行わずに、次へ移る場合は、何も入力せずに Enterキーを押します。

GateWay IP Addressを入力する場合は、前述と同様の方法で入力します。

Netmask: Number of Bits for Host Part (0=default) (0)

ネットマスク値をホスト部のビット数で指定します。

下記を参照に設定して下さい。

サブネットマスク値	設定する値
255.0.0.0	24
255.255.0.0	16
255.255.255.0	8
255.255.255.128	7
255.255.255.192	6
255.255.255.224	5
255.255.255.240	4
255.255.255.248	3
255.255.255.252	2

Set DNS Server IP addr (N) ?

Enetでは、サポートしていませんので Enterキーを押して設定をせずに次に移って下さい。

Change Telnet/Web Manager password (N) ?

Telnetログイン時やWebマネージャーログイン時に PASSWORDを求める場合は "Y"を入力後に、Enterキーで PASSWORDを入力します。

この項目の入力が完了すると、セットアップメニューに戻ります。

注意: PASSWORDを設定後に PASSWORDを忘れずと Webマネージャーや Telnetでログイン・設定変更等が不能となり、出荷時の設定に戻さないと復旧出来なくなります。メモ等で控えを残し設定した PASSWORDを忘れないに注意して下さい。

 3 - 1 - 2 [1 Channel 1] 設定メニュー

シリアル CH の設定を行います。

下記の() 内の数値は例です。設定状況により() 内表示の数値等は変わります。

Baudrate(9600) ?

300,600,1200,2400,4800,9600,19200,38400,57600,115200 のいずれかの数値を入力します。

入力後、Enterキーで次の設定へ進みます。(シリアル通信速度の設定です)

I/F Mode (4C) ?

シリアルインターフェースモードを設定します。

シリアルインターフェースの種類、データ長、パリティ、ストップビット長をBit単位で指定し16進数で入力します。

インターフェースモード	Bit 7	Bit 6	Bit 5	Bit 4	Bit 3	Bit 2	Bit 1	Bit 0
RS232C							0	0
RS422/485 4線 全二重							0	1
RS485 2線 半二重							1	1
データ長 7bit					1	0		
データ長 8bit					1	1		
パリティ 無			0	0				
偶数パリティ			1	1				
奇数パリティ			0	1				
ストップビット: 1	0	1						
ストップビット: 2	1	1						

設定例)

インターフェースモード 設定例	二進数		HEX 設定値
	上位	下位	
RS232C,データ長:8,パリティ 無,ストップビット:1	0100	1100	4C
RS232C,データ長:7,パリティ 奇数,ストップビット:2	1101	1000	D8
RS422,4線式,データ長:8,パリティ 奇数,1ストップビット:1	0101	1101	5D
RS422,2線式,データ長: 8,パリティ 無,1ストップビット:,1	0100	1111	4F

Flow (00) ?

フロー制御の方法を設定します。

フロー制御設定	Hex入力値
フロー制御無し	00
Xon/Xoffソフトウェアフロー制御	01
RTS/CTS ハードウェアフロー制御	02
Xon/Xoff コードをホストへ渡す	03

Port No (10001) ?

Enet の Port 番号を 10 進数で指定します。

注意: Port 番号は以下の番号以外を使用して下さい。

1~1024: ウェルノポート番号

9999、14000 ~ 14009、30704、30718: XPortで使します。

ConnectMode (C0) ?

接続方法を指定します。

接続モードの指定	Bit 7	Bit 6	Bit 5	Bit 4	Bit 3	Bit 2	Bit 1	Bit 0
サーバーモードでのTCP接続の受け入れ								
接続を受け付ける	0	0	0					
DTRにより受け付ける	0	1	0					
常に受け付ける	1	1	0					
応答の返送								
何も送らない				0				
次の文字を送る C=接続,D=切断,N=到達不可				1				
クライアントモードでのTCP接続の指定								
自動接続しない					0	0	0	0
任意の文字をシリアル受信で接続開始					0	0	0	1
DTRで接続開始					0	0	1	0
CR文字をシリアル受信で接続開始					0	0	1	1
シリアルからのコマンドで手動接続					0	1	0	0
Enet起動時に自動接続					0	1	0	1
ホストリスト	0	0	1	0				
通信プロトコルUDP時の設定								
宛先付き UDP通信					1	1	0	0
モデムモード								

注意: 印の設定は、Enetでは、設定が認められていません。

Send '+++' in Modem mode (Y) ?

Show IP addr after 'RING' (Y) ?

上記、2つの設定についてはどちらも Enterキーを押して何も設定をせずに次に進みます。(Enetでは設定出来ません)

Auto increment source port (N) ?

"Y"設定すると EnetがクライアントモードでTCP/IP接続時毎に自機Port番号を+1して接続します。

この時の自機Port番号は、50000番台で任意の値となります。

Remote IP Address : (000)

クライアントモード時の接続先のIPアドレスを入力します。

Remote Port (0) ?

クライアントモード時の接続先のPort番号を入力します。

DisConnectMode (00) ?

TCP/IPの切断方法を16進数で指定します。

Enetでは、00: 切断設定無又は、01: 相手が切断要求FINを認めなくても切断完了となります。

FlushMode (00) ?

バッファのフラッシュに関する設定を16進数で設定します。

バッファのフラッシュの設定 (バッファクリアの設定)	Bit 7	Bit 6	Bit 5	Bit 4	Bit 3	Bit 2	Bit 1	Bit 0
シリアルからLAN方向への入力バッファの設定								
Enetがクライアントとして接続確立時バッファをクリア				1				
Enetがサーバーモードで接続確立時バッファをクリア			1					
ネットワーク接続が切れた時、バッファをクリア		1						
LANからシリアル方向への出力バッファの設定								
Enetがクライアントとして接続確立時バッファをクリア								1
Enetがサーバーモードで接続確立時バッファをクリア							1	
ネットワーク接続が切れた時、バッファをクリア						1		
バックコントロール								
バックコントロールを有効にします	1							

バックコントロールを有効にした場合、以下の項目が表示されます。

バックコントロールの設定	Bit 7	Bit 6	Bit 5	Bit 4	Bit 3	Bit 2	Bit 1	Bit 0
バッファのフラッシュの設定								
Packing Interval (Idle Gap Time) の設定								
Interval: 12ms							0	0
Interval: 52ms							0	1
Interval: 250ms							1	0
Interval: 5sec							1	1
Trailing Characters (Send Trailing Byte) の設定								
None					0	0		
One					0	1		
Two					1	0		
Send Characters (Match 2Byte Sequence) の設定								
2-Byte Send Character Sequence				1				
Send Immediately After Send chars (Send Frame Immediate)			1					

DisConnTime (00:00) ?

シリアルへのデータ受信またはデータ送信が途絶えてから、ここに設定した時間(分: 秒)を経過した場合、TCP/IPを切断します。0: 0は無効設定です。

SendChar 1 (00) ?

デリミタ (Web マネージャ - 表現: Match Bytes) として指定する 1 番目の文字を16進数で設定します。設定しない場合は、00を指定します。

SendChar 2 (00) ?

デリミタ (Web マネージャ - 表現: Match Bytes) として指定する 2 番目の文字を16進数で設定します。設定しない場合は、00を指定します。
この項目の入力終了で、セットアップメニューに戻ります。

3 - 1 - 3 [3 E-mail] 設定メニュー

警告メールを送信する際の送信メールサーバーの設定を行います。

Mail server (0.0.0.0) ? (000)

SMTPメールサーバーのIPアドレスを設定します。(送信メールサーバー)
IPアドレスの入力方法は、前述と同様です。

Unit name () ?

メールアドレスを設定します。

メール送信時に必要な情報でメールサーバーに登録されています。

一般的には、username@xxxx.co.jp のような形式で設定となります。

username は、ユーザ名

xxxx.co.jp は、ドメイン名 となります。

Domain name () ?

メールサーバーのドメイン名を設定します。

Recipient 1 () ?

Email Address: 1 件目の送信先メールアドレスを設定します。

Recipient 2 () ?

Email Address: 2 件目の送信先メールアドレスを設定します。

- Trigger 1

Enable serial trigger input (N) ?

シリアルから設定したデータを受信した際にメールを送信します。

Trigger input 1 [A/X] (X) ?

Trigger input 2 [A/X] (X) ?

Trigger input 3 [A/X] (X) ?

Enetでは、Xのみの設定になります。他の設定は出来ません。

Message () ?

送信メールの件名を半角英数字で設定します。日本語、全角文字は使用出来ません。

Priority (L) ?

メール送信の優先順位を High (高い) 又は Low (通常) から選択可能です。

Min. notification interval (1 s) ?

時間を秒単位で設定します。設定した時間内に同じトリガー要因が発生しても無視されます。

Re-notification interval (0 s) ?

メール送信のトリガーとなる要因が継続する場合にメールを送信する回数を指定します。

0を指定の場合は、1度のみメールが送信されます。

この項目の入力終了で、以下の Trigger2 の入力となります。

- Trigger 2

Enable serial trigger input (N) ?

設定内容は、前述 Trigger1 と同様です。

Trigger2 の入力終了すると Trigger3 の入力となります。

- Trigger 3

Enable serial trigger input (N) ?

設定内容は、前述 Trigger1 と同様です。

Trigger3 の入力終了で、セットアップメニューに戻ります。

3 - 1 - 4 [5 Expert] 設定メニュー

Web マネージャーでは、「Server」メニューで設定する項目です。
ネットワーク通信の高度な設定を行います。

TCP Keepalive time in s (1s · 65s; 0s=disable) : (45)?

TCP/IP通信開設後、無通信状態(データ無)となった際に、通信相手が稼働状態であるかを確認する為に送信するKeepaliveパケットの送信間隔を指定します。(1~65sec)

相手から応答が7回連続で途絶えた場合は、接続中のTCP/IPを切断します。
0を入力するとKeepaliveは送信しません。

ARP Cache timeout in s (1s · 600s) : (600)?

ARPテーブルのキャッシュ保持時間を設定します。(1~600sec)

CPU performance (0=Regular, 1=Low, 2=High) : (0)?

XPort内蔵CPUの動作速度指定です。通常はRegular: 0を指定して下さい。
シリアル通信速度設定を460.8Kbps以上で設定時は、High: 2を指定して下さい。
但しEnet-XPORTは、115200bps以上の指定は出来ませんので、Regular:0指定です。

Disable Monitor Mode @ bootup (N)?

"Y"設定すると電源投入直後にシリアルCHより特定コマンド(zzz等)を受信時にモニターモードへ入る機能を停止とします。

RS485 tx enable active level (0=low; 1=high): (0)?

RS485 2線式半二重通信モード時に送信イネーブル信号のレベルを選択します。
Enet-XPORTでは無関係な設定です。

HTTP Port Number : (80)?

Webサーバーの待ち受けPort番号を指定します。通常は80です。

SMTP Port Number : (25)?

SMTPメールサーバーのPort番号を設定します。

MTU Size (512 · 1400) : (1400)?

TCP/UDPパケットのデータ部の長さを512~1400バイトの範囲で設定可能です。

.....

TCP Re-transmission Timeout (500 · 4000) (ms) : (500) ?

TCPパケットの再送発生時の再送間隔タイマーを指定します。単位はmsです。
500 ~ 4000まで指定可能です。

Enable alternate a MAC (N) ?

変更出来ません。そのまま Enter キーで次の設定へ移行して下さい。

Ethernet connection Type : (0) ?

LANの通信方式を選択します。

0:Auto Negotiate (自動認識) 通常はこの設定で問題ありません。

2:10Base/half duplex (10Base/半二重)

3:10Base/full duplex (10Base/全二重)

4:100Base/half duplex (100Base/半二重)

5:100Base/full duplex (100Base/全二重)

この項目の入力終了で、セットアップメニューに戻ります。

3 - 1 - 5 [6 Security] 設定メニュー

セキュリティに関する設定が可能です。

注意: この設定については、設定項目の機能・設定内容について受分理解した上で
設定変更を行う必要があります。

使用を停止した場合、元に戻せなくなる場合やアクセスが出来なくなる場合があります。

詳細は、Lantronix社のマニュアル「XPort_UG.pdf」をご参照ください。

Disable SNMP (N) ?

SNMPプロトコルの使用、不使用を設定可能です。

SNMP Community Name (public):

SNMP名を1～13の文字で指定します。

Disable Telnet Setup (N) ?

Telnet接続でのセットアップモード操作の使用、不使用を設定可能です。

Disable TFTP Firmware Update (N) ?

TFTPプロトコルを使用したファームウェアの更新機能の使用、不使用を設定可能です。

Disable Port 77FEh (N) ?

DeviceInstaller、Web マネージャー、カスタムプログラム機能の使用・不使用を設定可能です。

"Y"を設定してしまうと DeviceInstaller等が動作しなくなります。

77FEh Access Mode (0=Read & Write, 1=Read Only) : (0) ?

77FEhでのアクセス機能を使用した場合に、アクセス、更新可能かアクセスのみ可能かの設定が可能です。

Disable Web Server (N) ?

"Y"を設定すると Web サーバーを停止します。

Disable Web Setup (N) ?

"Y"を設定すると Web マネージャーを使用する事が出来なくなります。

Disable ECHO ports (Y) ?

Port 番号 7 の ECHO 機能の使用、不使用を設定可能です。

Enable Enhanced Password (N) ?

通常、Telnetや Web マネージャーログイン時の PASSWORD は 4 文字ですが、"Y" 選択により 最大 16 文字までの PASSWORD が可能になります。

Disable Port 77F0h (N) ?

"Y"を選択すると 汎用 i/o (GPIO制御) インターフェースが無効となります。

この項目の入力終了で、セットアップメニューに戻ります。

3 - 1 - 6 [7 Defaults] 設定メニュー

Lantronix 社の XPORT (タイプにより変わります) 出荷時の設定に戻します。
Configurable Pins や IP アドレス値は、変更されません。
7 を入力すると、セットアップメニューに戻ります。

3 - 1 - 7 [8 Exit without save] 設定メニュー

設定・変更を保存せずにセットアップモードを終了します。
8 を入力すると、exiting without save! のリザルトを返送して、セットアップ
モードを終了します。

3 - 1 - 8 [9 Save and exit] 設定メニュー

設定・変更を保存してセットアップモードを終了します。
9 を入力すると、Parameters stored のリザルトを返送して、セットアップ
モードを終了します。
保存を行いますので、10 秒間は電源の入り切を行わないでください。